



Nexus Dashboard ファブリック コントローラのイメージ管理

[新機能および変更された機能に関する情報](#) 2

[イメージ管理について](#) 2

[用語](#) 5

[Required Software Versions](#) 5

[前提条件](#) 6

[スイッチのグループのアップグレードまたはダウングレード](#) 6

[スイッチからのパッケージのアンインストール](#) 25

改訂：2024年4月24日、

新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、この最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、今リリースまでの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

| リリース バージョン | 特長 | 説明 |
|------------------|---|--|
| NDFC リリース 12.1.2 | -- | このユース ケース ドキュメントの初版。 |
| NDFC リリース 12.1.3 | Cisco Catalyst 9000 シリーズ スイッチのソフトウェアイメージ管理。 | 次の機能のサポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none">• Cisco Catalyst 9000 シリーズのスタンドアロン、StackWise および StackWise Virtual スイッチでのソフトウェアイメージ管理。• ステージング操作と検証操作を1つのステップで実行します。• アップグレードの前後にスイッチ設定のスナップショットを生成します。 |

イメージ管理について

このドキュメントでは、Nexus Dashboard ファブリック コントローラ リリース 12.x 以降のイメージ管理機能の詳細について説明します。

イメージ管理は、シスコのソフトウェアイメージをスイッチに展開し、ネットワークの安定性と機能の一貫性を実現します。イメージ管理ワークフローの利点は次のとおりです。

- 包括的なイメージ管理ポリシーにより、一連のスイッチのバージョンとパッチ レベルを指定できます。
- Nexus Dashboard Fabric Controller (NDFC) は、各スイッチに関連付けられたイメージポリシーのコンプライアンスを検証します
- イメージのステージング、検証、およびインサーブिस ソフトウェア アップグレード (ISSU) の操作は独立しているため、大規模なアップグレードとダウングレードが可能です



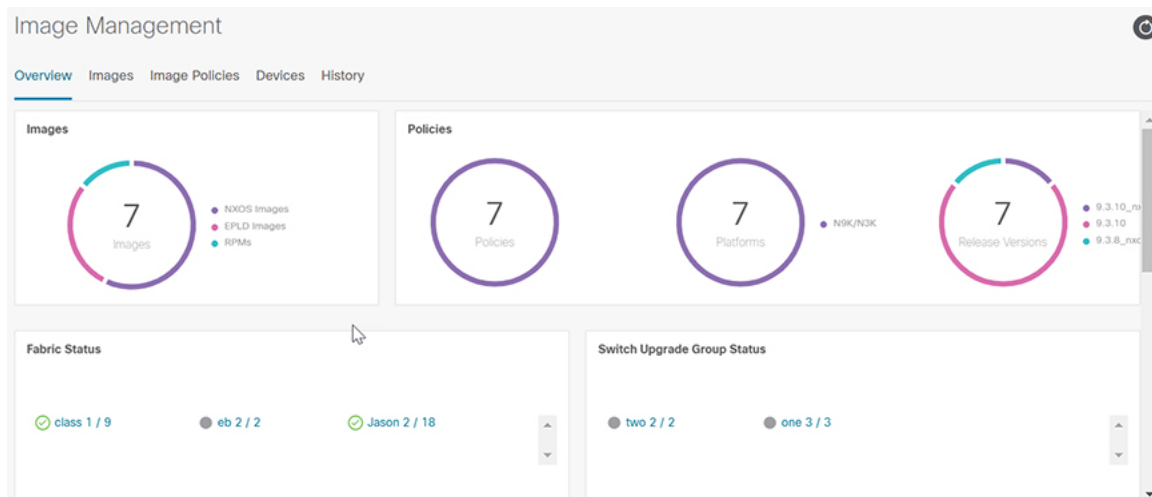
(注) Nexus Dashboard ファブリック コントローラ リリース 12.1.3 以降、NDFC はステージングと検証を1つのステップで実行する機能を提供します。

- メンテナンス ウィンドウの前に次の操作を実行できます。
 - イメージファイルのステージング
これにより、イメージファイルがブートフラッシュにコピーされます。
 - 可能な場合は、ネットワーク オペレーティング システム (NOS) と EPLD の互換性を検証します。
これにより、イメージが完全であるかどうか、イメージが個々のハードウェアに対して有効であるかどうか、およびアップグレードが無停止であるかどうかを確認されます。
 - アップグレード前レポートの実行

- アップグレード前/アップグレード後にレポートを実行し、結果を比較する機能
- アップグレード前/アップグレード後の設定のスナップショットを生成する機能
- **[詳細の表示 (View Details)]** 列には、各操作をモニターするためのライブ ログ ステータスが表示されます。
- メンテナンス モードを使用して、中断を伴うアップグレードの影響を最小限に抑えることができます (特にマルチリロードアップグレードの場合)。
- デバイスで複数の操作を同時に実行できます。ただし、同じデバイス セットに対して複数の操作を同時に実行することはできません。
- アップグレードグループでは、一括アップグレードとダウングレードが可能です。アップグレードグループには、次の場合に冗長ファブリックでの不要なダウンタイムを回避するためのチェックがあります。
 - ファブリックの特定のロールのすべてのスイッチが同じグループになります
 - ファブリック内のすべてのルートリフレクタ (RR) は同じグループに属します
 - ファブリック内のすべてのランデブー ポイント (RP) は同じグループになります
 - 両方の仮想ポート チャンネル (vPC) ピアが同じグループになります
 - すべてのインバンドシード デバイスが同じグループに入れられます
- 以前および現在のアップグレードの詳細を可視化し、高い概要レベルも表示
- スイッチ、ファブリック、およびグループレベルでの現在の NOS、EPLD、およびパッチの整合性の可視化

Nexus Dashboard ファブリック コントローラ リリース 12.1.2 以降、**[概要 (Overview)]** タブが変更され、イメージ、ポリシー、ファブリック ステータス、およびスイッチ アップグレード グループのステータスが表示されます。

図 1: イメージ管理の概要 UI、リリース 12.1.2



イメージ管理 UI には、次の機能領域があります。

- **[概要 (Overview)]** : イメージ、ポリシー、ファブリックのステータス、およびスイッチアップグレードグループのステータスが表示されます。
 - **[イメージ (Images)]** カードには、イメージの数とパッケージまたはパッチのタイプが表示されます。
 - **[ポリシー (Policies)]** カードには、ポリシー、プラットフォーム、およびリリースバージョンの数が表示されます。
 - **[ファブリックステータス (Fabric Status)]** カードには、ファブリック内のデバイスの数と、デバイスが同期しているかどうかが表示され、赤色または緑色で表示されます。
 - **[スイッチアップグレードグループステータス (Switch Upgrade Group Status)]** カードには、グループの数とデバイスのステータスが表示されます。
 - 緑 : デバイスが同期中。
 - 赤 : デバイスが同期されていない。
 - グレー : デバイスが使用できない (N/A) 。たとえば、デバイスにポリシーが設定されていない場合です。
- **[イメージ (Images)]** : イメージが表示されます。イメージをアップロードまたは削除します。
- **[イメージポリシー (Image Policies)]** : イメージポリシーが表示されます。イメージポリシーを作成、削除、または編集できます。
- **[デバイス (Devices)]** : デバイスが表示されます。イメージのステージング、アップグレード、検証、モードの変更、グループのアタッチ、グループのデタッチ、ポリシーのアタッチ、またはポリシーのデタッチを実行できます。
- **[履歴 (History)]** : スイッチで実行されたすべての操作の履歴が表示されます。

用語

ここでは、知っておくべき用語について説明します。

| 用語 | 略語 | 説明 |
|------------------------|------|---|
| 電子的プログラマブル論理デバイス | EPLD | EPLD によるイメージのアップグレードは、ハードウェアの機能強化を組み込むか、既知の問題を解決するために提供されます。 |
| インサーブिस ソフトウェア アップグレード | ISSU | ISSUを使用すると、ネットワークのダウンタイムなしで、シャーシデバイスのリリース ソフトウェア バージョンをアップグレードできます。 |
| ローカルエリア ネットワーク | LAN | LANは、一定の境界のある場所でネットワークを形成するために相互にリンクされた一連のコンピュータで構成されます。 |
| ネットワーク オペレーティング システム | NOS | ルータ、スイッチ、ファイアウォールなどのネットワーク デバイス用に設計された専用のオペレーティングシステム。たとえば、Nexus スwitchの NX-OS、Cisco Catalyst スwitchの IOS XE があります。 |
| ランデブー ポイント | RP | RP は、マルチキャストデータの送信元と受信者が互いを検出できる場所として機能するルータです。 |
| ルート リフレクタ | RR | ルート リフレクタは、他のすべての iBGP ルータのルーティング情報交換サーバーとして機能するルータです。 |
| セキュア コピー | SCP | SCPは、デバイス間でファイルを転送するためにイメージ管理によって使用されます。 |

Required Software Versions

For Cisco Nexus Dashboard services compatibility information, see the [Cisco Data Center Networking Applications Compatibility Matrix](#).

前提条件

このセクションでは、前提条件について説明します。このドキュメントは、Nexus ダッシュボードおよび Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラの基礎知識がある読者を対象としています。

- SCP はイメージ管理によって使用されます。SCP と SNMP の両方がデフォルトで常に有効になっており、Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラを有効にする場合は、少なくとも 2 つの外部サービス プール IP が必要です。
- ユーザー ロールが **network-admin** または **device-upg-admin** であることを確認します。
- ファブリックが存在すること、ファブリックに「Deployment Enabled」フラグが設定されていること、およびスイッチがこのファブリック内の Nexus Dashboard ファブリック コントローラによって管理されていることを確認します。
- LAN クレデンシャルが設定されていることを確認します。

スイッチのグループのアップグレードまたはダウングレード

2 つのアップグレード方法と 1 つのダウングレード方法があります。

- 中断を伴うアップグレードまたはダウングレード：アップグレードまたはダウングレードプロセス中にスイッチが一時的にダウンし、ファブリック トラフィックが中断されます。
詳細については、[スイッチ グループのアップグレードまたはダウングレード（中断）（6 ページ）](#)を参照してください。
- 中断のないアップグレード：これにより、ファブリックトラフィックを中断することなくスイッチを実行できます。
詳細については、[スイッチ グループのアップグレード（中断なし）](#)を参照してください。
- 中断なしでのダウングレードはサポートされていません。

スイッチ グループのアップグレードまたはダウングレード（中断）

ここでは、スイッチのグループをアップグレードまたはダウングレードするための中断を伴う方法について説明します。

スイッチのグループをダウングレードする場合、選択するターゲット イメージが現在インストールされているイメージよりも古いことを除いて、プロセスはスイッチのグループをアップグレードするプロセスと同じです。ソフトウェアをダウングレードしている場合でもダイアログ、フィールド、ボタンとその他の UI 内のコントロールのテキストは、「アップグレード」を指定します。

ソフトウェア ダウンロード Web サイトからのイメージのダウンロード

ここでは、ソフトウェア ダウンロード Web サイトからイメージをダウンロードする方法について説明します。

手順

ステップ 1 ソフトウェア ダウンロード Web サイトに移動します。

[ソフトウェア ダウンロード Web サイト](#)

ステップ 2 自分のクレデンシャルでログインします。ソフトウェアをダウンロードするには、ログインする必要があります。

ステップ 3 [スイッチ (Switches)] に移動し、シリーズとスイッチを選択します。

ステップ 4 スイッチ モデルに応じて、ソフトウェア タイプを選択します。

- Nexus スイッチの場合、次のものがあります。

- NX-OS EPLD アップデート
- NX-OS ファームウェア
- NX-OS パッチ リリース
- NX-OS ソフトウェア メンテナンス アップグレード (SMU)
- NX-OS システム ソフトウェア

- Cisco Catalyst スイッチの場合 : IOS XE ソフトウェア

Cisco Catalyst スイッチの場合、NDFC は CAT9K および CAT9K_LITE イメージタイプを使用したソフトウェア アップグレードのサポートを提供します。

ステップ 5 ダウンロードするソフトウェア ファイルを選択し、ダウンロードアイコンをクリックします。

Nexus Dashboard ファブリック コントローラへのイメージのアップロード

ここでは、イメージをアップロードする方法について説明します。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[イメージ (Image)] を選択します。

ステップ 2 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[アップロード (Upload)] を選択します。

ステップ 3 [イメージのアップロード (Upload Image)] ダイアログボックスで、ファイルをアップロードするか、SCP からインポートします。

非 UNIX ベースのデバイスから SCP または SFTP サーバーへのイメージのアップロードはサポートされていないことに注意してください。

ステップ 4 [Verify (検証)] をクリックします。

イメージポリシーの作成

このセクションでは、イメージポリシーの作成方法を説明します。

手順

ステップ1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[イメージポリシー (Image Policies)] を選択します。

ステップ2 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[作成 (Create)] を選択します。

ステップ3 次の [イメージ管理ポリシーの作成 (Create Image Management Policy)] ダイアログボックスに、次の情報を入力します。

Create Image Management Policy ×

Policy Name*

Platform*

Release*

View All Packages

Package Name

Policy Description

EPLD

Select EPLD

RPM/SMU Disable ⓘ

RPMs/SMUs To Be Uninstalled (Provide Comma Separated Values)

スイッチのタイプによりませんが、[イメージ管理ポリシーの作成 (Create Image Management Policy)] ダイアログボックスのすべてのフィールドがすべてのデバイスで使用できるわけではありません。

ステップ4 [保存 (Save)] をクリックします。

グループの作成とスイッチへのアタッチ

このセクションでは、グループを作成してスイッチにアタッチする方法について説明します。グループ化により、一連のスイッチのアップグレードを追跡できます。グループ、ロール、またはスイッチのタイプに関係なく、複数のグループを作成し、スイッチを選択できます。

スイッチのロールに基づいてアップグレードグループを作成することを推奨します。たとえば、ファブリックにリーフ、スパイン、ボーダーなどの異なるロールを持つ複数のスイッチがある場合は、異なるロールに基づいてグループを作成することをお勧めします。これにより、スイッチイメージ管理操作中の役割と責任が明確に分離されます。異なるロールを持つスイッチは、重要な機能を実行し、コントロールプレーン、データプレーン、およびシステムレベルのコンバージェンスに基づいて異なる応答をします。たとえば、admin ロールを持つユーザは、次のように複数のグループを作成できます。

- 偶数番号またはプライマリの VPC ロールを持つリーフ スwitchの場合は、Group-Leaf-Even
- Group-Leaf-Odd (奇数番号またはセカンダリの VPC ロールを持つリーフ スwitchの場合)

通常、スパイン デバイスとボーダー デバイスはファブリックに限定されますが、リーフのロールが最も一般的なものです。したがって、管理者ロールを持つユーザーは、個々の境界線が続く個々の境界線をアップグレードしたり、境界線と境界線に対して異なるグループを作成したりできます。管理者ロールを持つユーザーは、引き続きグループを活用してリーフロールスイッチを分割し、一括アクションを実行できます。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで [デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、グループ化するデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストで、[グループの変更 (Modify Groups)] を選択します。

ステップ 4 [グループの変更 (Modify Groups)] ダイアログボックスで、[グループのアタッチ (Attach Group)] オプション ボタンをクリックし、[グループの作成 (Create Group)] を選択するか、[グループ (Group)] ドロップダウン リストからすでに作成されているグループを選択します。

グループを作成するには、[グループの変更 (Modify Groups)] ダイアログボックスにグループ名を入力します。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

スイッチへのポリシーの適用

このセクションでは、ポリシーをスイッチにアタッチする方法について説明します。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、ポリシーをアタッチするデバイスを選択します。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストで、[ポリシーの変更 (Modify Policy)] を選択します。

ステップ 4 [ポリシーの変更 (Modify Policy)] ダイアログボックスで、[ポリシーのアタッチ (Attach Policy)] オプション ボタンをクリックし、[ポリシー (Policy)] ドロップダウン リストから必要なポリシーを選択します。

ステップ 5 (任意) 必要に応じて、[ステージングと検証 (Stage & Validate)] チェックボックスをオンまたはオフにします。

このオプションでは、イメージがスイッチに展開され、スイッチ上の既存のソフトウェアバージョンとの互換性が検証されます。デフォルトでチェックボックスはオンになっています。ポリシーをアタッチするときにこのフィールドをオフにし、必要に応じて手動でステージングして検証することができます。詳細については、「[スイッチへのイメージのコピー \(10 ページ\)](#)」および「[スイッチの検証 \(オプション\) \(11 ページ\)](#)」を参照してください。

ステップ 6 [添付 (Attach)] をクリックします。

[デバイス (Devices)] タブのテーブルには、ステージのステータスと検証操作が表示されます。

ステップ 7 (任意) [詳細の表示 (View Details)] 列のリンクをクリックして、これらの操作の詳細に関するインストールログを表示します。エラーがある場合は、ログを調べてエラーを確認できます。

[履歴 (History)] タブには、すべての構成変更とエラーに関する詳細のログも表示されます。

正常に完了すると、[ステージングされたイメージ (Image Staged)] 列と [検証済み (Validated)] 列に、それぞれのデバイスの緑色のアイコンが表示されます。

次のタスク

インストール ログを確認して検証が成功したかどうかを確認し、アップグレード操作を続行します。

スイッチへのイメージのコピー

ここでは、イメージをスイッチにコピーする方法について説明します。

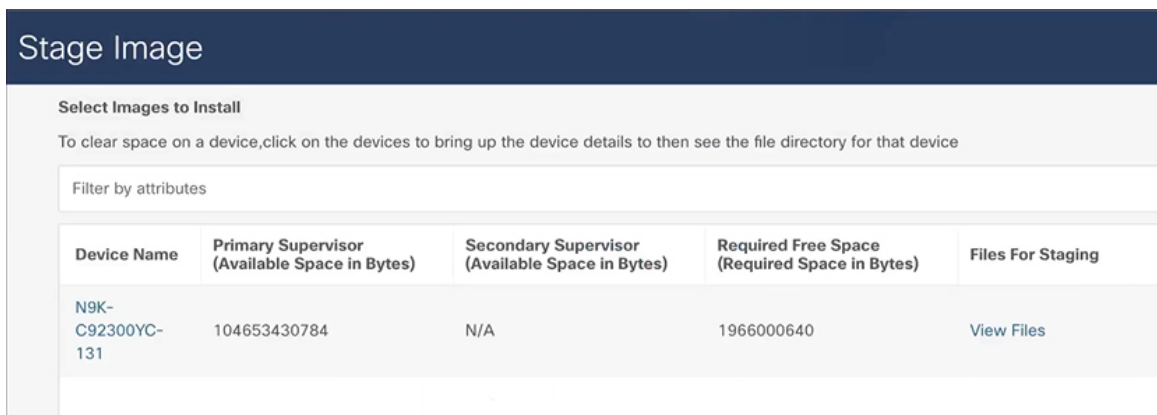
手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、目的のデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[ステージ イメージ (Stage Image)] を選択します。

ステップ 4 [ステージ イメージ (Stage Image)] ウィンドウで、十分なスペースがあることを確認します。十分なスペースがない場合、プライマリスーパーバイザ (バイト単位の使用可能なスペース) が赤色で表示されます。



スペースを増やすには、次の手順を実行します。

- [ステージ イメージ (Stage Image)] ウィンドウで、デバイス名をクリックします。
- [スイッチの概要 (Switch Overview)] ウィンドウで、[ハードウェア > ブートフラッシュ (Hardware Bootflash)] タブが表示されていることを確認します。イメージをステージングできるように、ファイルを削除して領域を作成する必要があります。
- 削除するファイル名にチェックマークを付けます。
- [アクション (Actions)] をクリックし、[ファイルの削除 (Delete Files)] を選択します。
- [警告 削除しますか (Warning Are you sure you want to delete?)] ダイアログボックスで、[確認 (Confirm)] をクリックしてファイルを削除します。
- [イメージのステージング (Stage Image)] ウィンドウに戻り、[必要な空き領域 (Required Free Space)] 列に 0 と表示されていることを確認します。

ステップ 5 [ステージ (Stage)] をクリックします。

スイッチの検証 (オプション)

始める前に

ここでは、互換性チェックを実行してアップグレード可能なスイッチを確認するためにスイッチを検証する方法について説明します。これにより、イメージが完全であるかどうか、イメージが個々のハードウェアに対して有効であるかどうか、およびアップグレードが無停止であるかどうかを確認されます。ログ ファイルは、各スイッチの詳細情報を提供します。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで [デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、検証するデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[検証 (Validate)] を選択します。

ステップ4 中断のないアップグレードが必要な場合は、[検証 (Validate)] ダイアログボックスでチェックボックスをオンにします。

ステップ5 [Validate] をクリックします。

ステップ6 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウの [詳細の表示 (View Details)] 列で、[検証 (Validate)] をクリックして、そのスイッチのログファイルを確認します。



ステップ7 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウの [検証済み (Validated)] 列で、完了するまで検証の進行状況を確認できます。

- 検証が正常に完了すると、緑色で表示されます。
- 検証に失敗すると、赤色で表示されます。[詳細の表示 (View Details)] 列でログファイルを確認します。続行する前に、エラーを修正する必要があります。

```
Install Log For n3k-82
-----
499 ..... [#####] 100 -- SUCCESS
500 ..... [#####] 100 -- SUCCESS
501 ..... [#####] 100 -- SUCCESS
502 Preparing "bios" version info using image bootflash:/nxos.9.3.10.bin.
503 [#           ] 0%
504 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
505 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
506 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
507 Performing module support checks.
508 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
509 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
510 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
511 Notifying services about system upgrade.
512 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
513 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
514 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
515 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
516 Compatibility check is done:
517 Module bootable Impact Install-type Reason
518 -----
519 1 yes disruptive reset default upgrade is not hitless
520 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
521 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
522 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
523 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
524 Images will be upgraded according to following table:
525 Module Image Running-Version(pri:alt) New-Version Upg-Required
526 -----
527 1 nxos 9.3(4) 9.3(10) yes
528 1 bios v05.43(11/22/2020):v05.38(06/12/2019) v05.47(04/28/2022) yes
529 Compatibility check status - Success.
```

スイッチでの Pre-ISSU レポートの作成と実行 (オプション)

ここでは、スイッチで pre-ISSU レポートを作成および実行する方法について説明します (オプション)。

手順

ステップ1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、レポートを実行するデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[レポートの実行 (Run Reports)] を選択します。

ステップ 4 [レポートの作成 (Create Report)] ダイアログボックスで、[Pre ISSU] オプション ボタンを選択します。

- a) [テンプレートの選択 (Select Template)] をクリックします。
- b) [レポートテンプレートの選択 (Select Report Template)] ダイアログで、`custom_swift_issu` テンプレートを
選択し、[選択 (Select)] をクリックします。
- c) [Report Name] フィールドに、レポートの名前を入力します。

システムが2つのレポートを関連付けることができるように、ISSU 前と ISSU 後のレポートに同じ名前を指定してください。

- d) フィールドで使用可能なデフォルト値を使用し、[生成 (Generate)] をクリックします。

(注) pre-ISSU レポートを複数回実行することはできません。

準備ができると、システムはレポートを生成します。ステータスが [成功 (successful)] と表示されていることを確認します。

- e) [結果 (Results)] 列の下のリンクをクリックすると、レポートの HTML バージョンを表示できます。

スイッチ設定のアップグレード前のスナップショットの生成 (オプション)

このトピックでは、スイッチの設定のスナップショットを生成する方法について説明します。アップグレードを実行するためにメンテナンス モードを開始および終了する前に、スイッチ設定のスナップショットを生成することをお勧めします。これを使用して、メンテナンス モードに移行する前と通常モードに戻した後のスイッチの構成を比較できます。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、必要なデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[スナップショットの生成 (Generate Snapshot)] を選択します。

ステップ 4 [スナップショットの生成 (Generate Snapshot)] ダイアログボックスで、[アップグレード前のスナップショット (Pre-Upgrade-Snapshot)] をクリックします。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

システムは、スイッチのアップグレード前のスナップショットを生成します。

ステップ 6 各スイッチの [詳細の表示 (View Details)] 列のリンクをクリックして、スイッチ用に生成されたスナップショットを表示します。[履歴 (History)] タブには、すべての構成変更とエラーに関する詳細のログも表示されます。

メンテナンス モードへの変更

ここでは、メンテナンス モードへ変更する方法について説明します。

手順

ステップ1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、目的のデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[モード変更 (Change Mode)] を選択します。

ステップ4 [モード変更 (Change Mode)] ダイアログボックスで、[メンテナンス (Maintenance)] を選択し、[保存して今すぐ展開 (Save and Deploy Now)] をクリックします。

スイッチのアップグレードまたはダウングレード

ここでは、スイッチまたはスイッチのグループをアップグレードまたはダウングレードする方法について説明します。

手順

ステップ1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ2 次のいずれかを実行します。

- アップグレードするデバイスのチェックボックスをオンにします。
- スwitchのグループをアップグレードするには、[アップグレードグループ (Upgrade Groups)] をフィルタリングし、すべてを選択して、必要なすべてのデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[アップグレード (Upgrade)] を選択します。

(注) 最大4倍のNOS、EPLD、RPMへのアップグレードが必要になる場合があります。EPLD Golden は個別にアップグレードする必要があります。

- a) [アップグレード (Upgrade)] オプション ボタンをクリックします。
- b) [アップグレードの選択 (Select Upgrades)] フィールドで、必要なアップグレードにチェックマークを付けます。

Cisco Catalyst スwitchの場合、アップグレードできるのはNOSのみです。EPLDおよびSMUのアップグレードは現在サポートされていません。

- c) [アップグレードオプション (Upgrade Options)] フィールドで、[中断 (Disruptive)] を選択します。
 - d) [BIOS フォース (BIOS Force)] チェックボックスをオンにすることも、オフにすることもできます。リロードが必要です。
 - e) [検証ステータス (Validation Status)] を表示し、必要に応じてフィルタリングできます。
 - f) [Upgrade] をクリックします。
-

通常モードへの変更

ここでは、通常モードへ変更する方法について説明します。

手順

ステップ1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、目的のデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[モード変更 (Change Mode)] を選択します。

ステップ4 [モード変更 (Change Mode)] ダイアログボックスで、[通常 (Normal)] を選択し、[保存して今すぐ展開 (Save and Deploy Now)] をクリックします。

次のグループについて、次の手順を繰り返します。

(注) 次のグループに進む前に、スイッチがオンラインであることを確認します。

- a) [メンテナンスモードへの変更 \(13 ページ\)](#)
 - b) [スイッチのアップグレードまたはダウングレード \(14 ページ\)](#)
 - c) [通常モードへの変更 \(14 ページ\)](#)
-

スイッチでの Post-ISSU レポートの実行 (オプション)

ここでは、モードが通常モードに変更された場合にのみ、スイッチで Post-ISSU レポートを実行する方法について説明します。



(注) リリース 12.1.2 では、Post-ISSU を実行する前に、スイッチが完全に動作するまで待つ必要があります。

手順

ステップ1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、post-ISSU を実行するデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[レポートの実行 (Run Reports)] を選択します。

ステップ4 [レポートの作成 (Create Report)] ダイアログボックスで、[Post ISSU] オプションボタンを選択します。

- a) [テンプレートの選択 (Select Template)] をクリックします。
- b) [レポートテンプレートの選択 (Select Report Template)] ダイアログで、`custom_swift_issu` テンプレートを選択し、[選択 (Select)] をクリックします。
- c) [レポート名 (Report Name)] ドロップダウンリストから、生成した Pre-ISSU レポートの名前を選択し、[生成 (Generate)] をクリックします。
- d) フィールドで使用可能なデフォルト値を使用し、[生成 (Generate)] をクリックします。
準備ができると、システムはレポートを生成します。ステータスが [成功 (successful)] と表示されていることを確認します。
- e) [結果 (Results)] 列の下のリンクをクリックすると、レポートの HTML バージョンを表示できます。

Post-ISSU レポートには、アップグレードの前後に実行されたチェックの結果の概要が連続して表示されます。エラーがないかレポートを分析し、必要に応じて修正アクションを実行します。

ステップ 5 以下を実行して、レポートを表示します。

- a) **[Nexus Dashboard Fabric Controller]** ウィンドウで、**[操作 (Operations)] > [プログラマブル レポート (Programmable Reports)]** を選択し、**[レポート (Reports)]** タブに移動します。
- b) **[レポート (Reports)]** ウィンドウで、表示するレポートの**[タイトル (Title)]** 列の下に表示されるリンクをクリックします。
- c) **[レポート (Report)]** ダイアログボックスで、展開アイコンをクリックして、レポートの HTML バージョンを開きます。
ウィンドウには、エラー、警告、情報、および成功メッセージに関する概要と詳細が表示されます。また、アップグレードの前後の構成のスナップショットも表示されます。

スイッチ設定のアップグレード後のスナップショットの生成 (オプション)

このトピックでは、スイッチの設定のスナップショットを生成する方法について説明します。アップグレードを実行するためにメンテナンス モードを開始および終了する前に、スイッチ設定のスナップショットを生成することをお勧めします。これを使用して、メンテナンス モードに移行する前と通常モードに戻した後のスイッチの構成を比較できます。

手順

ステップ 1 **[イメージ管理 (Image Management)]** ウィンドウで、**[デバイス (Devices)]** を選択します。

ステップ 2 **[デバイス (Devices)]** ウィンドウで、必要なデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 **[アクション (Actions)]** ドロップダウンリストから、**[スナップショットの生成 (Generate Snapshot)]** を選択します。

ステップ 4 **[スナップショットの生成 (Generate Snapshot)]** ダイアログボックスで、**[アップグレード後のスナップショット (Post-Upgrade-Snapshot)]** をクリックします。

ステップ 5 **[保存 (Save)]** をクリックします。

スイッチのアップグレード後スナップショットが生成されます。

ステップ 6 各スイッチの**[詳細の表示 (View Details)]** 列のリンクをクリックすると、そのスイッチに対して生成されたスナップショットとスナップショット前後の比較サマリーが表示されます。**[履歴 (History)]** タブには、すべての構成変更とエラーに関する詳細のログも表示されます。

スイッチ グループのアップグレード (中断なし)

ここでは、スイッチのグループを中断なしでアップグレードする方法について説明します。

ソフトウェア ダウンロード Web サイトからのイメージのダウンロード

ここでは、ソフトウェア ダウンロード Web サイトからイメージをダウンロードする方法について説明します。

手順

ステップ 1 ソフトウェア ダウンロード Web サイトに移動します。

[ソフトウェア ダウンロード Web サイト](#)

ステップ 2 自分のクレデンシャルでログインします。ソフトウェアをダウンロードするには、ログインする必要があります。

ステップ 3 [スイッチ (Switches)] に移動し、シリーズとスイッチを選択します。

ステップ 4 ソフトウェア タイプを選択します。

- Nexus スイッチの場合、次のものがあります。

- NX-OS EPLD アップデート
- NX-OS ファームウェア
- NX-OS パッチ リリース
- NX-OS ソフトウェア メンテナンス アップグレード (SMU)
- NX-OS システム ソフトウェア

- Cisco Catalyst スイッチの場合 : IOS XE ソフトウェア

Cisco Catalyst スイッチの場合、NDFC は CAT9K および CAT9K_LITE イメージタイプを使用したソフトウェア アップグレードのサポートを提供します。

ステップ 5 ダウンロードするソフトウェア ファイルを選択し、ダウンロードアイコンをクリックします。

Nexus Dashboard Fabric Controller へのイメージのアップロード

ここでは、イメージをアップグレードする方法について説明します。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[イメージ (Image)] を選択します。

ステップ 2 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[アップロード (Upload)] を選択します。

ステップ 3 [イメージのアップロード (Upload Image)] ダイアログボックスで、ファイルをアップロードするか、SCP からインポートします。

非 UNIX ベースのデバイスから SCP または SFTP サーバーへのイメージのアップロードはサポートされていないことに注意してください。

ステップ4 [Verify (検証)] をクリックします。

イメージポリシーの作成

このセクションでは、イメージポリシーの作成方法を説明します。

手順

ステップ1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[イメージポリシー (Image Policies)] を選択します。

ステップ2 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[作成 (Create)] を選択します。

ステップ3 [イメージ管理ポリシーの作成 (Create Image Management Policy)] ダイアログボックスに、次の情報を入力します。

Create Image Management Policy ×

Policy Name*

Platform*

Release*

View All Packages

Package Name

Policy Description

EPLD

Select EPLD

RPM/SMU Disable ⓘ

RPMs/SMUs To Be Uninstalled (Provide Comma Separated Values)

Cancel Save

スイッチのタイプによりませんが、[イメージ管理ポリシーの作成 (Create Image Management Policy)] ダイアログボックスのすべてのフィールドがすべてのデバイスで使用できるわけではありません。

ステップ4 [保存 (Save)] をクリックします。

グループの作成とスイッチへのアタッチ

このセクションでは、グループを作成してスイッチにアタッチする方法について説明します。グループ化により、一連のスイッチのアップグレードを追跡できます。グループ、ロール、またはスイッチのタイプに関係なく、複数のグループを作成し、スイッチを選択できます。

スイッチのロールに基づいてアップグレードグループを作成することを推奨します。たとえば、ファブリックにリーフ、スパイン、ボーダーなどの異なるロールを持つ複数のスイッチがある場合は、異なるロールに基づいてグループを作成することをお勧めします。これにより、スイッチイメージ管理操作中の役割と責任が明確に分離されます。異なるロールを持つスイッチは、重要な機能を実行し、コントロールプレーン、データプレーン、およびシステムレベルのコンバージェンスに基づいて異なる応答をします。たとえば、admin ロールを持つユーザは、次のように複数のグループを作成できます。

- 偶数番号またはプライマリの VPC ロールを持つリーフ スwitchの場合は、Group-Leaf-Even
- Group-Leaf-Odd (奇数番号またはセカンダリの VPC ロールを持つリーフ スwitchの場合)

通常、スパイン デバイスとボーダー デバイスはファブリックに限定されますが、リーフのロールが最も一般的なものです。したがって、管理者ロールを持つユーザーは、個々の境界線が続く個々の境界線をアップグレードしたり、境界線と境界線に対して異なるグループを作成したりできます。管理者ロールを持つユーザーは、引き続きグループを活用してリーフロールスイッチを分割し、一括アクションを実行できます。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで [デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、グループ化するデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストで、[グループの変更 (Modify Groups)] を選択します。

ステップ 4 [グループの変更 (Modify Groups)] ダイアログボックスで、[グループのアタッチ (Attach Group)] オプション ボタンをクリックし、[グループの作成 (Create Group)] を選択するか、[グループ (Group)] ドロップダウン リストからすでに作成されているグループを選択します。

グループを作成するには、[グループの変更 (Modify Groups)] ダイアログボックスにグループ名を入力します。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

スイッチへのポリシーの適用

このセクションでは、ポリシーをスイッチにアタッチする方法について説明します。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、ポリシーをアタッチするデバイスを選択します。

ステップ3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストで、[ポリシーの変更 (Modify Policy)] を選択します。

ステップ4 [ポリシーの変更 (Modify Policy)] ダイアログボックスで、[ポリシーのアタッチ (Attach Policy)] オプション ボタンをクリックし、[ポリシー (Policy)] ドロップダウン リストから必要なポリシーを選択します。

ステップ5 (任意) 必要に応じて、[ステージングと検証 (Stage and Validate)] チェックボックスをオンにします。

このオプションでは、イメージがスイッチに展開され、スイッチ上の既存のソフトウェアバージョンとの互換性が検証されます。デフォルトでチェックボックスはオンになっています。ポリシーをアタッチするときにこのフィールドをオフにし、必要に応じて手動でステージングして検証することができます。詳細については、「[スイッチへのイメージのコピー \(20 ページ\)](#)」および「[スイッチの検証 \(オプション\) \(21 ページ\)](#)」を参照してください。

ステップ6 [添付 (Attach)] をクリックします。

[デバイス (Devices)] タブのテーブルには、ステージのステータスと検証操作が表示されます。

ステップ7 (任意) [詳細の表示 (View Details)] 列のリンクをクリックして、これらの操作の詳細に関するインストールログを表示します。エラーがある場合は、ログを調べてエラーを確認できます。

[履歴 (History)] タブには、すべての構成変更とエラーに関する詳細のログも表示されます。

正常に完了すると、[ステージングされたイメージ (Image Staged)] 列と [検証済み (Validated)] 列に、それぞれのデバイスの緑色のアイコンが表示されます。

ステップ8 [保存 (Save)] をクリックします。

スイッチへのイメージのコピー

ここでは、イメージをスイッチにコピーする方法について説明します。

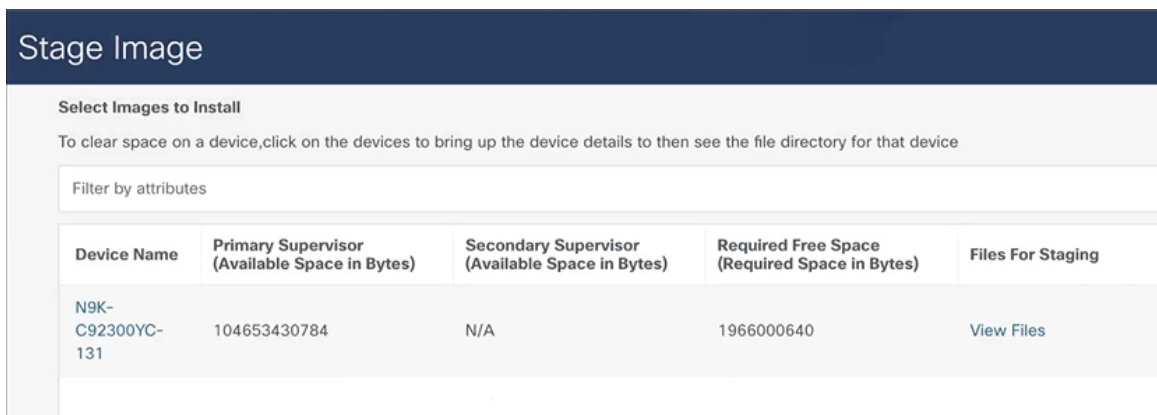
手順

ステップ1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、目的のデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[ステージ イメージ (Stage Image)] を選択します。

ステップ4 [ステージ イメージ (Stage Image)] ウィンドウで、十分なスペースがあることを確認します。十分なスペースがない場合、プライマリスーパーバイザ (バイト単位の使用可能なスペース) が赤色で表示されます。



スペースを増やすには、次の手順を実行します。

- [ステージ イメージ (Stage Image)] ウィンドウで、デバイス名をクリックします。
- [スイッチの概要 (Switch Overview)] ウィンドウで、[ハードウェア > ブートフラッシュ (Hardware Bootflash)] タブが表示されていることを確認します。イメージをステージングできるように、ファイルを削除して領域を作成する必要があります。
- 削除するファイル名にチェックマークを付けます。
- [アクション (Actions)] をクリックし、[ファイルの削除 (Delete Files)] を選択します。
- [警告 削除しますか (Warning Are you sure you want to delete?)] ダイアログボックスで、[確認 (Confirm)] をクリックしてファイルを削除します。
- [ステージ イメージ (Stage Image)] ウィンドウに戻り、イメージをステージングします。

ステップ5 [ステージ (Stage)] をクリックします。

スイッチの検証 (オプション)

ここでは、互換性チェックを実行してアップグレード可能なスイッチを確認するためにスイッチを検証する方法について説明します。これにより、イメージが完全であるかどうか、イメージが個々のハードウェアに対して有効であるかどうか、およびアップグレードが無停止であるかどうかを確認されます。ログファイルは、各スイッチの詳細情報を提供します。

手順

ステップ1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで [デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、検証するデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[検証 (Validate)] を選択します。

ステップ4 中断のないアップグレードが必要な場合は、[検証 (Validate)] ダイアログボックスでチェックボックスをオンにします。

ステップ5 [Validate] をクリックします。

ステップ6 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウの [詳細の表示 (View Details)] 列で、[検証 (Validate)] をクリックして、そのスイッチのログファイルを確認します。

ステップ7 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウの [検証済み (Validated)] 列で、完了するまで検証の進行状況を確認できます。



- 検証が正常に完了すると、緑色で表示されます。
- 検証に失敗すると、赤色で表示されます。[詳細の表示 (View Details)] 列でログファイルを確認します。続行する前に、エラーを修正する必要があります。

```
Install Log For n3k-82
-----
499
500 ..... [#####] 100 -- SUCCESS
501
502 Preparing "bios" version info using image bootflash:/nxos.9.3.10.bin.
503 [# ] 0%
504 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
505
506
507 Performing module support checks.
508 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
509
510
511 Notifying services about system upgrade.
512 ..... [#####] 100% -- SUCCESS
513
514
515
516 Compatibility check is done:
517 Module bootable Impact Install-type Reason
518 -----
519
520 1 yes disruptive reset default upgrade is not hitless
521
522
523
524 Images will be upgraded according to following table:
525 Module Image Running-Version(pri:alt) New-Version Upg-Required
526 -----
527 1 nxos 9.3(4) 9.3(10) yes
528 1 bios v05.43(11/22/2020):v05.38(06/12/2019) v05.47(04/28/2022) yes
529 Compatibility check status - Success.
```

スイッチでの Pre-ISSU レポートの作成と実行 (オプション)

ここでは、スイッチで pre-ISSU レポートを作成および実行する方法について説明します (オプション)。

手順

ステップ1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、レポートを実行するデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[レポートの実行 (Run Reports)] を選択します。

ステップ4 [レポートの作成 (Create Report)] ダイアログボックスで、[Pre ISSU] オプション ボタンを選択します。

- a) [テンプレートの選択 (Select Template)] をクリックします。

- b) [レポート テンプレートの選択 (Select Report Template)] ダイアログで、テンプレートを選択し、[選択 (Select)] をクリックします。
- c) すべての質問に回答し、[生成 (Generate)] をクリックします。

スイッチ設定のアップグレード前のスナップショットの生成 (オプション)

このトピックでは、スイッチの設定のスナップショットを生成する方法について説明します。アップグレードを実行するためにメンテナンス モードを開始および終了する前に、スイッチ設定のスナップショットを生成することをお勧めします。これを使用して、メンテナンス モードに移行する前と通常モードに戻した後のスイッチの構成を比較できます。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、必要なデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[スナップショットの生成 (Generate Snapshot)] を選択します。

ステップ 4 [スナップショットの生成 (Generate Snapshot)] ダイアログボックスで、[アップグレード前のスナップショット (Pre-Upgrade-Snapshot)] をクリックします。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

システムは、スイッチのアップグレード前のスナップショットを生成します。

ステップ 6 各スイッチの[詳細の表示 (View Details)] 列のリンクをクリックして、スイッチ用に生成されたスナップショットを表示します。[履歴 (History)] タブには、すべての構成変更とエラーに関する詳細のログも表示されます。

スイッチのグループのアップグレード

ここでは、スイッチのグループをアップグレードする方法について説明します。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、[グループのアップグレード (Upgrade Groups)] をフィルタリングし、すべてを選択して、必要なすべてのデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[アップグレード (Upgrade)] を選択します。

(注) 最大 2 回 (NXOS、RPM) アップグレードが必要になる場合があります。

- a) [アップグレード (Upgrade)] オプション ボタンをクリックします。

- b) [アップグレードの選択 (Select Upgrades)] フィールドで、必要なアップグレードにチェックマークを付けます。
- c) [アップグレード オプション (Upgrade Options)] フィールドで、[強制的に無停止 (Force Non-Disruptive)] を選択します。
- d) [BIOS で強制 (Bios forced)] チェックボックスはオンにしないでください。
- e) [検証ステータス (Validation Status)] を表示し、必要に応じてフィルタリングできます。
- f) [アップグレード (Upgrade)] をクリックします。

ステップ 4 グループ内のすべてのスイッチが完全にアップグレードされます。次のグループに対してこの手順を繰り返します。

スイッチでの Post-ISSU レポートの実行 (オプション)

ここでは、スイッチで Post-ISSU レポートを実行する方法について説明します (オプション)。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、post-ISSU を実行するデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[レポートの実行 (Run Reports)] を選択します。

ステップ 4 [レポートの作成 (Create Report)] ダイアログボックスで、[Post ISSU] オプションボタンを選択します。

- a) [テンプレートの選択 (Select Template)] をクリックします。
 - b) [レポートテンプレートの選択 (Select Report Template)] ダイアログで、テンプレートを選択し、[選択 (Select)] をクリックします。
 - c) すべての質問に回答し、[生成 (Generate)] をクリックします。
-

スイッチ設定のアップグレード後のスナップショットの生成 (オプション)

このトピックでは、スイッチの設定のスナップショットを生成する方法について説明します。アップグレードを実行するためにメンテナンス モードを開始および終了する前に、スイッチ設定のスナップショットを生成することをお勧めします。これを使用して、メンテナンス モードに移行する前と通常モードに戻った後のスイッチの構成を比較できます。

手順

ステップ 1 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、必要なデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[スナップショットの生成 (Generate Snapshot)] を選択します。

ステップ 4 [スナップショットの生成 (Generate Snapshot)] ダイアログボックスで、[アップグレード後のスナップショット (Post-Upgrade-Snapshot)] をクリックします。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

スイッチのアップグレード後スナップショットが生成されます。

ステップ 6 各スイッチの[詳細の表示 (View Details)] 列のリンクをクリックすると、そのスイッチに対して生成されたスナップショットとスナップショット前後の比較サマリーが表示されます。[履歴 (History)] タブには、すべての構成変更とエラーに関する詳細のログも表示されます。

スイッチからのパッケージのアンインストール

ここでは、スイッチからのパッケージのアンインストール方法について説明します。最初にパッチ名をメモし、パッケージを切り離してからアンインストールする必要があります。

手順

ステップ 1 [Nexus Dashboard Fabric Controller] ウィンドウで、[LAN] > [スイッチ (Switches)] を選択します。

ステップ 2 [スイッチ (Switches)] ウィンドウで、パッケージをアンインストールするデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[詳細 (More)] > [Show コマンド] を選択します。

ステップ 4 [Switch Show Commands] ウィンドウで、次のように入力します。

a) [コマンド (Commands)] フィールドで、[show] を選択します。

b) [変数 (Variables)] セクションの [show] フィールドに、**install patch** と入力します。

右側のペインにパッケージ名が一覧表示されます。ファイル名をコピーして、アンインストールするパッケージ名をメモします。次に例を示します。

```
1
2 #show install patches
3 Boot Image:
4 | | NXOS Image: bootflash:///nxos.9.3.10.bin
5
6 -----
7 nxos.CSCwc83676-n9k_ALL-1.0.0-9.3.10.lib32_n9000 Active Committed
8 nxos.CSCvy19448-n9k_ALL-1.0.0-9.3.7.lib32_n9000 Inactive Committed
9 -----
10
```

c) ウィンドウを終了します。

ステップ 5 [Nexus Dashboard Fabric Controller] ウィンドウで、[操作 (Operations)] > [イメージ管理 (Image Management)] を選択します。

ステップ 6 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[イメージポリシー (Image Policies)] を選択します。

ステップ 7 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[作成 (Create)] を選択します。

ステップ 8 [イメージ管理ポリシーの作成 (Create Image Management Policy)] ダイアログボックスに次のとおり入力します。

- a) [ポリシー名 (Policy Name)] フィールドに、ポリシー名を入力します。たとえば、**uninstall_patch** です。
- b) [プラットフォーム (Platform)] ドロップダウンリストから、正しいプラットフォームを選択します。
- c) [すべてのパッケージを表示 (View All Packages)] チェックボックスをオンにしないでください。
- d) [パッケージ名 (Package Name)] フィールドは空白のままにします。
- e) [ポリシーの説明 (Policy description)] フィールドは空白のままにします。
- f) **ELPD** チェックボックスをおんにしないでください。
- g) [**ELPD** の選択 (Select ELPD)] フィールドは空白のままにします。
- h) [**RPM/SMU** の無効化 (RPM/SMU Disable)] チェックボックスをオンにします。
- i) [アンインストールする **RPM/SMU** (RPMs/SMUs To Be Uninstalled)] フィールドに、パッケージを入力します。

(注) 値を区切るために、カンマを入力します。

j) [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 9 [イメージ管理 (Image Management)] ウィンドウで、[デバイス (Devices)] を選択します。

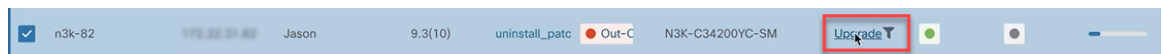
ステップ 10 [デバイス (Devices)] ウィンドウで、ポリシーを変更するデバイスのチェックボックスをオンにします。

ステップ 11 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストで、[ポリシーの変更 (Modify Policy)] を選択します。

ステップ 12 [ポリシーの変更 (Modify Policy)] ダイアログボックスで、次の通り入力します。

a) [ポリシーのタッチ (Attach Policy)] オプション ボタンをクリックします。

b) [ポリシー (Policy)] フィールドにポリシー名を入力し、[タッチ (Attach)] をクリックします。
次に例を示します。



ステップ 13 スイッチは再計算しようとしています。[ステータス (Status)] 列でスイッチのステータスをクリックします。次に例を示します。

Image Management

Overview Images Image Policies **Devices** History

Filter by attributes Actions

| <input type="checkbox"/> | Device Name | IP Address | Fabric | Current Version | Policy | Status | Model | View Details | Image Staged | Validated | Upgrade |
|-------------------------------------|--------------------|------------|--------|-----------------|------------|--------|-----------------|--------------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | N3K-C31108TC-V-125 | | Jason | 7.0(3)7(3) | None | None | N3K-C31108TC-V | None | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input checked="" type="checkbox"/> | n3k-82 | | Jason | 9.3(10) | uninstall3 | Out-C | N3K-C34200YC-SM | Compliance | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | N9K-C92304QC-120 | | Jason | 9.3(4) | None | None | N9K-C92304QC | None | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

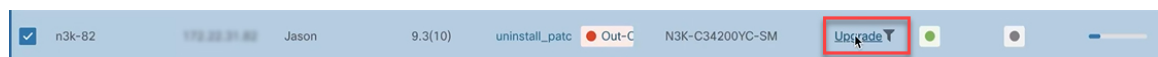
ステップ 14 [イメージバージョンのステータス (Image Version Status)] ダイアログボックスに、削除されるパッケージが表示されます。

ステップ 15 パッケージを削除するには、[デバイス (Devices)] ウィンドウで、パッケージを削除するデバイスのチェックボックスがオンになっていることを確認します。

ステップ 16 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[アップグレード (Upgrade)] を選択します。

ステップ 17 [アップグレード/アンインストール (Upgrade/Uninstall)] ウィンドウで、次のように入力します。

- [アンインストール (Uninstall)] オプションボタンをクリックし、[アンインストール (Uninstall)] をクリックします。
- [デバイス (Devices)] ウィンドウで、[詳細の表示 (View Details)] 列の[アップグレード (Upgrade)] をクリックすると、デバイスのアンインストールの進行状況を確認できます。



- パッケージが削除されると、ステータスに[In-Sync]が緑色で表示され、[アップグレード (Upgrade)] に緑色のボタンが表示されます。
- [デバイス (Devices)] ウィンドウで、ログファイルを表示して、パッケージが正常にアンインストールされたかどうかを確認することもできます。[詳細の表示 (View Details)] 列で、そのデバイスの[アップグレード (Upgrade)] をクリックします。

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。